

近年、SNSによる情報がテレビや新聞、雑誌などの情報媒体を凌駕していると話題になっている。その最たる例が東京都知事選で大躍進した石丸伸二氏であり、兵庫県知事に当選した齋藤元彦氏である。政治の世界においては、候補者の情報発信手段として今後ますます重要な媒体となることは容易に想像できる。



さて、ここ数カ月、テレビやSNSにおいて「ケネディ大統領就任演説」が話題になっている。そして、その演説が一部切り取られ、間違った解釈がなされていることに対し、警鐘を鳴らすとともにその真意について、正しい情報を発信したい。
ケネディは大統領就任あいさつにおいて「Ask not

論壇

高良 守

what your country can do for you. Ask what you can do for your country (国が国民に対して何をしてくれるかを問うな。国民が国に対して何が出来るかを問え)と 01.html)。

ケネディ大統領就任演説の真意

人類の敵への一致団結願う

この部分について、一部の政治家や著名なニュースキャスター、さらに学者までもが特に減税を強く主張する国民や一部の政党を牽制するSNSが多く見受けられる。
ケネディのこの演説は「減税」を求めるアメリカ国民に対し、財政規律の考え方を国民に

では、なぜケネディは、先のことを願った演説の一部である。つまり、米国民一人一人が、これら人類共通の敵に対し「自分自身にできることをしよう」と呼びかけたのである。これがケネディ大統領就任演説の真意である。

先この文言が一部の政治家や学者、また一部の政党、さらには一部のメディアに都合がよいように切り取られ、「減税」への牽制に使われている。
SNSはテレビや新聞などと異なり、不確定な情報が氾濫しているのも確かである。だからこそわれわれはその情報の真偽について、あらゆる媒体を通じて確かめ、そして発信していかなければならない。
(豊見城市、沖縄国際大学沖縄経済環境研究所特別研究員、56歳)